

取扱説明書

LGデジタル サイネージ (モニターサイネージ)

このたびはLG サイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 1.0

目次

ユーザー設定 3

- メインメニューの設定 3
- クイック設定
- 映像設定
- 音声設定
- ネットワーク設定
- 機器設定

エンターテイメント 13

- [マイメディア]の使用 13
- USBストレージデバイスの接続
- [マイメディア]でサポートされているフ
- ァイル
- 動画の視聴
- 写真の表示
- 音楽の再生
- 設定
- SuperSignコンテンツ 20
- 情報 20
- File Manager 20
- 映像IDの設定 21

IRコード 22

複数のモニターを制御するには 24

- ケーブルの接続 24
- RS-232C構成 24
- 通信パラメータ 24
- コマンドリファレンスリスト 25
- 送受信プロトコル 27

本製品に搭載されている
GPL、LGPL、MPL、およびその他のオ
ープンソースのライセンスのもとで開発さ
れたソースコードを取得するには、[http://
opensource.lge.com](http://opensource.lge.com)をご参照ください。
ソースコードをはじめ、該当するすべて
のライセンスの内容や著作権の表示、保
障責任がないという表示をダウンロード
できます。本製品をお買い求めから3年
以内に、本製品に搭載されているソフト
ウェアのオープンソースコードをEメール
(opensource@lge.com)にてお求めに
なる場合、媒体の費用や送料など、必要
な最小限の費用をお支払いいただいてか
ら、CD-ROMにてご提供いたします。

✔ ヒント

- ・ソフトウェアに関連する内容は、製品の機能をアップグレードするために事前の通告なしに変更されることがあります。
- ・モデルによっては、ユーザーガイドで説明されている機能を特定のモデルでサポートしていない場合があります。

ユーザー設定

メインメニューの設定

クイック設定

頻繁に使用される設定メニューを構成します。

モニターのオン/オフを自動的に切り替えるには

SETTINGS → [クイック] → [オンタイマー/オフタイマー]

モニターの[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定できます。オン/オフタイマーを設定しない場合は、[オフ]を繰り返し選択します。

バックライトとコントラストを自動的に設定するには

SETTINGS → [クイック] → [スマート省エネモード]

消費電力を節約するために、映像の明るさに従ってモニターの明るさが自動的に調整されます。

- ・[オフ]：[スマート省エネモード]機能を無効にします。
- ・[オン]：[スマート省エネモード]機能を有効にします。

映像設定

映像モードを選択するには

SETTINGS → [映像] → [映像モード]

動画のタイプに最適な映像モードを選択します。

- [あざやか]：コントラスト、明るさ、およびシャープネスを高めることによって、小売環境用にビデオ映像を調整します。
- [標準]：標準環境用にビデオ映像を調整します。
- APS：APS（自動省エネ設定）モードでは、コントロールの輝度制御で電力消費が削減されます。
- [シネマ]：映画の視聴に合わせてビデオ映像を最適化します。
- [スポーツ]：スポーツ観戦に合わせてビデオ映像を最適化します。ボールのキックやスローなどのすばや
い動作も画面上で明瞭に表示されます。
- [ゲーム]：ゲームのプレイ用にビデオ映像を最適化します。
- [エキスパート1/エキスパート2]：エキスパートまたは高品質な映像に関心のある方なら誰でも、最適な映
像品質になるように手動で映像を調整できます。

ヒント

- 入力信号によっては、使用可能な映像モードが異なる場合があります。
- [エキスパート]は、映像品質のエキスパートが特定の映像を使用して映像品質を微調整できるオプションです。したがって、標準的な映像では効果がない場合もあります。

映像モードを微調整するには

SETTINGS → [映像] → [画質調整]

- [バックライト]：LCDバックライトを制御して、画面の明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [コントラスト]：映像の明るい領域と暗い領域の差を調整します。値が100に近づくほど、差が大きくなります。
- [明るさ]：画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]：オブジェクトのエッジのシャープネスを調整します。値が50に近づくほど、エッジが鮮明でシャープになります。
- [水平シャープネス]：水平方向から見た場合の画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [垂直シャープネス]：垂直方向から見た場合の画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [色の濃さ]：画面の色合いを柔らかく、または深くします。値が100に近づくほど、色が濃くなります。
- [色合い]：画面に表示される赤レベルと緑レベルのバランスを調整します。赤の値が50に近づくほど濃い赤になり、緑の値が50に近づくほど濃い緑になります。
- [色温度]：画面の色合いを温かみ、または冷涼感を感じるように調整します。
- [プロ設定]：詳細オプションをカスタマイズします。
 - [ダイナミックコントラスト]：映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を最適化します。
 - [超解像]：映像のぼやけた部分や不明瞭な部分をシャープにします。
 - [色域]：表現できる色の範囲を選択します。
 - [ダイナミックカラー]：よりあざやかで明るい表示になるように映像の色合いと彩度を調整します。
 - [輪郭補正]：映像のエッジをもっと自然に、もっとクリアに表現します。
 - [カラーフィルター]：RGB色相の中で特定色域だけをフィルタリングして、カラーゲインと色相を正確に調節します。
 - [色補正]：好みに合わせて肌の色合い、草木の色合い、空の色合いを調整します。
 - [ガンマ]：映像の中程度の明るさを調整します。
 - [ホワイトバランス]：好みに合わせて映像全体の色合いを調整します。[エキスパート]モードでは、[方式]オプションまたは[パターン]オプションを使用して映像を微調整できます。
- [カラーマネージメント]：エキスパートは、テストパターンを使用して色の濃さを調整する際に、カラーマネージメントシステムを使用します。カラーマネージメントでは、他の色に影響を及ぼすことなく、6種類の色空間（赤/黄/青/シアン/マゼンタ/緑）から選択することで調整できます。調整後も、通常の映像で色合いの変化がわからないことがあります。

- ・ [映像オプション]：映像オプションをカスタマイズします。
 - [ピクチャーノイズリダクション]：映像を明瞭にするため、不規則に生成された小さな点を除去します。
 - [MPEGノイズリダクション]：デジタルビデオ信号の生成中に生じたノイズを減少させます。
 - [黒レベル]：映像の明るさとコントラストを修正するために、映像の黒レベルを調整します。
 - [リアルシネマ]：映画のような画像にビデオ映像を最適化します。
 - [LED部分制御]：画面の明るい部分を明るく、暗い部分を暗くして、コントラストを最大にします。
 - [オフ]：[LED部分制御]機能を無効にします。
 - [低]/[中]/[高]：画面のコントラストを調整します。
 - [TruMotion]：映画のような画像にビデオ映像を最適化します。
 - [オフ]：TruMotionをオフにします。
 - [なめらかに]：動きの速い映像を滑らかに表示します。
 - [クリア]：動きの速い映像を明瞭に表示します。
 - [ユーザー]：不異常振動を手動で設定します。
 - *[ジャダー調整]：画面上のジャダー効果を調整します。
- ・ [初期化]：映像の設定を初期化します。

ヒント

- ・ 詳細設定は、[ユーザー設定]モードでのみ調整できます。
- ・ 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能なオプションが異なる場合があります。

画面サイズを設定するには

SETTINGS → [映像] → [画面サイズ]

映像が最適なサイズで表示されるように画面サイズを変更します。

- ・ [16:9]：16:9の画面サイズで映像を表示します。
- ・ [ジャストスキャン]：映像の端を切り取らずに元のサイズで表示します。
オリジナルはHDMI（720p以上）モードで使用可能です。
- ・ [プログラム]：入力ビデオ信号に応じて、自動的に画面サイズを4:3または16:9に変更します。
- ・ [4:3]：4:3の画面サイズで映像を表示します。
- ・ [ズーム]：映像を画面の幅に合わせて拡大します。映像の上下端が切り取られることがあります。
- ・ [シネマズーム]：歪みなく、2.35:1のシネマスコープ比で映像を拡大します。

注意

- ・ 画面に同じ画像を長時間表示すると、その画像が画面に焼き付き、画面の外観が永続的に損なわれます。この「映像の焼き付き」または「焼き付き」は、保証対象外となります。
- ・ 画面サイズを長時間[4:3]に設定していると、画面のレターボックス領域で映像の焼き付きが発生する場合があります。
- ・ オプションはモデルによって異なります。
- ・ 入力信号に応じて、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。
- ・ HDMI1-PC/HDMI2-PC/DISPLAYPORT-PC/DVI-D（PC）入力モードでは、[4:3]と[16:9]の画面サイズのみを選択できます。

[映像省エネ設定]機能を使用するには**SETTINGS → [映像] → [映像省エネ 設定]**

画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。

- [自動]：周囲の照明に応じてモニターの明るさを調整します（この機能は特定のモデルでのみ使用可能です）。
- [オフ]：映像省エネ設定モードを無効にします。
- [最小]/[中]/[最大]：モニターに指定された映像省エネ設定レベルに応じて、映像省エネ設定を使用します。
- [映像オフ]：画面をオフにします。音声のみ出力されます。POWERボタン以外の、リモコンの任意のボタンを押すと、再び画面をオンにできます。

[スマート省エネモード]機能を使用するには**SETTINGS → [映像] → [スマート省エネモード]**

消費電力を節約するために、映像の明るさによってモニターの明るさが自動的に調整されます。

- [オフ]：[スマート省エネモード]機能を無効にします。
- [オン]：[スマート省エネモード]機能を有効にします。

かんたん明るさコントロールを使用するには**SETTINGS → [映像] → [かんたん明るさコントロール]**

バックライトは、スケジュールに従って調整されます。

- [オフ]：[かんたん明るさコントロール]機能を無効にします。
- [オン]：[かんたん明るさコントロール]機能を有効にします。

 ヒント

- [かんたん明るさコントロール]が[オン]のとき、[画面調整]の[バックライト]機能は無効になります。
- [映像省エネ設定]が[最大]または[自動]に設定されているとき、[かんたん明るさコントロール]は無効です。
- 最大6つのスケジュールを追加でき、スケジュールは時刻の昇順に並べられます。
- 追加された項目は個々に削除できます。
- 重複するスケジュールは追加されません。ただし、バックライトの値は更新されます。
- モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

映像テストを実行するには**SETTINGS → [映像] → [映像テスト]**

映像テストを実行して、映像の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択することによって問題を解決します。テスト映像で問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

音声設定

サウンドモードを選択するには

SETTINGS → [音声] → [サウンドモード]

現在視聴している動画のタイプに応じて、最適な音声品質が自動的に選択されます。

- ・[標準]：このサウンドモードはすべてのタイプのコンテンツで良好に動作します。
- ・[ニュース]：ニュースの視聴に合わせて音声を最適化します。
- ・[音楽]：音楽の再生に合わせて音声を最適化します。
- ・[シネマ]：映画の視聴に合わせて音声を最適化します。
- ・[スポーツ]：スポーツ観戦に合わせて音声を最適化します。
- ・[ゲーム]：ゲームのプレイに合わせて音声を最適化します。

[サウンド効果]機能を使用するには

SETTINGS → [音声] → [サウンド効果]

- ・[クリアーボイス II]：3レベルの調整で、よりクリアな音声を楽しめます。
- ・[イコライザー]：イコライザーを使用して音声を手動で調整します。
- ・[バランス]：左側のスピーカーと右側のスピーカーの出力音量を調整します。
- ・[初期化]：音声の設定を初期化します。

音量コントロールを選択するには

SETTINGS → [音声] → [音量コントロール]

[低]/[中]/[高]のいずれかを選択して、音量の範囲を設定できます。

音声とビデオを同期するには

SETTINGS → [音声] → [AV同期]調整

- ・[スピーカー出力]：デジタルオーディオ出力ポート、LGオーディオ機器、またはヘッドフォンに接続されたスピーカーなど、外部スピーカーからの音声とビデオの同期を調整します。値がデフォルト値から[-]に近づくほど音声出力は高速になり、値が[+]に近づくほど音声出力は低速になります。
- ・[バイパス]：遅延なく外部デバイスからの音声を出力します。モニターに入力された動画の処理に時間がかかるため、音声動画より先に出力される場合があります。

音声テストを実行するには

SETTINGS → [音声] → [音声テスト]

音声テストを実行して、音声の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択することによって問題を解決します。音声テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

ネットワーク設定

サイネージモニター名を設定するには

SETTINGS → [ネットワーク] → [サイネージ名]

オンスクリーンキーボードを使用して、ネットワーク上で使用するSignage Monitorの名前を設定できます。

ネットワークを設定するには

SETTINGS → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]

- ・ [有線ネットワークに接続中]：LANポートを使用してモニターをローカルエリアネットワーク（LAN）に接続し、ネットワーク設定を行います。有線ネットワーク接続のみがサポートされています。物理的接続の確立後、一部のネットワークで、モニターのネットワーク設定の調整が必要になる場合があります。大半のネットワークでは、調整なしで自動的にモニターの接続が確立されます。詳細については、インターネットプロバイダーに問い合わせるか、ルーターのマニュアルを参照してください。

無線ネットワークの設定

（モデルによっては、サポートされていない場合があります）。

SETTINGS → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

モニターを無線ネットワーク用に設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- ・ [非表示の無線ネットワークを追加]：ネットワークの名前を直接入力すれば、無線ネットワークを追加できます。
- ・ [PBCで接続]：PBCをサポートしている無線APのボタンを押して簡単に接続できます。
- ・ [PINで接続]：接続先のワイヤレスAPの構成WebページにAPのPINを入力すると、簡単に接続できます。
- ・ [詳細設定]：ネットワークの情報を直接入力すれば、ワイヤレスネットワークに参加できます。利用可能なワイヤレスネットワークが表示されていない場合は、[詳細設定]をクリックしてください。ネットワークを追加できます。

ネットワーク設定のヒント

- ・このモニターでは標準のLANケーブル（RJ45コネクタ付きのカテゴリ5以上）を使用してください。
- ・設定時に生じたネットワーク接続の問題の多くは、ルーターまたはモデムをリセットすることで修正できます。モニターをホームネットワークに接続した後、すばやく、ホームネットワークルーターまたはケーブルモデムの電源をオフにするか電源ケーブルを抜き、その後再度、電源をオンにするか電源ケーブルを接続します。
- ・インターネットサービスプロバイダー（ISP）によっては、インターネットサービスを受けることのできるデバイス数が、適用されるサービス条件によって制限されている場合があります。詳細については、ISPに問い合わせてください。
- ・LGは、インターネット接続またはその他の接続機器に関連する通信エラーや不具合が原因で生じた、モニターやインターネット接続機能の誤作動の責任は負いません。
- ・LGは、インターネット接続での問題の責任は負いません。
- ・アクセスするコンテンツの要件をネットワーク接続速度が満たしていないと、期待どおりの結果が得られない場合があります。
- ・インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダー（ISP）が設定している特定の制限が原因で、一部のインターネット接続操作を実行できない場合があります。
- ・ISPによって請求される料金（接続料を含みますが、これに限定されません）は、ユーザーの負担となります。

ヒント

- ・モニターでインターネットに直接アクセスする場合は、インターネット接続を常にオンにする必要があります。
- ・インターネットにアクセスできない場合は、ネットワーク上のPCでネットワーク状態を確認します。
- ・[Network Setting]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ・ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワークが適切に機能しない場合があります。

注意

- ・モジュラー電話ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- ・さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーの規定に従ってください。
- ・[ネットワーク設定]メニューは、モニターが物理ネットワークに接続されるまで使用できません。

無線ネットワーク設定のヒント

（モデルによっては、サポートされていない場合があります）。

- ・無線ネットワークは周波数2.4 GHzで動作している他のデバイス（モバイル端末、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、他のWi-Fiデバイスと同様に、5 GHzの周波数を使用するデバイスにより干渉を受ける可能性もあります。
- ・周囲の無線環境によって無線ネットワークサービスの動作が遅くなることがあります。
- ・ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部のデバイスでネットワークトラフィックが発生することがあります。
- ・AP接続の場合は、無線接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要です。また、無線接続機能をデバイスで有効にする必要があります。ユーザーのアクセスポイントで無線接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダーに問い合わせてください。

- AP接続について、SSIDとAPのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとAPのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワークデバイス（有線/無線回線共有、ハブ）の無効な設定により、モニターの動作が遅くなる場合や、正しく動作しない場合があります。適切なマニュアルに従ってデバイスを正しく取り付けて、ネットワークを設定してください。
- 接続方法は、APメーカーによって異なることがあります。

機器設定

言語を設定するには

SETTINGS → [機器設定] → [メニュー言語]

画面に表示されたメニューの言語のいずれかを選択します。

- [メニュー言語]：Signageの言語を設定します。

時刻/日付を設定するには

SETTINGS → [機器設定] → [時刻設定]

時刻を確認または変更できます。

- [時刻]：時刻を手動で設定できます。
- [日付]：日付を手動で設定できます。

サマータイムを適用するには

SETTINGS → [機器設定] → [サマータイム]

サマータイムの適用期間を設定し、[オン]/[オフ]を選択することでこの機能を有効/無効にできます。

- [開始時刻]/[終了時刻]：月/週/日/時刻の設定を行うことで時刻を設定できます。

ヒント

- サマータイムを設定する場合、月の週番号と曜日の設定を行います。
- たとえば、サマータイムが2014年7月7日に始まる場合、2014年7月の第1月曜日なので、時刻を7月/第1週/月曜/00:00と設定します。
- 月によっては、第4週または第5週が「最終週」になります。

モニターのオン/オフを自動的に切り替えるには

SETTINGS → [機器設定] → [タイマー]

モニターの[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定できます。

- ・ [オンタイマー]：モニターをオンにする時刻を設定できます。
- ・ [オフタイマー]：モニターをオフにする時刻を設定できます。
- ・ [信号がなければ電源をオフ(15分)]：入力元がない場合、モニターが15分後に自動的にオフになります。
自動的にオフにたくない場合は、[信号がなければ電源をオフ(15分)]を[オフ]に設定します。
- ・ [自動電源オフ]：キー入力がない場合、モニターが自動的にオフになります。

ヒント

- ・ 最大7件の予約についてオンタイマー/オフタイマーを保存できます。予約一覧で設定されている時刻になると、モニターの電源がオンまたはオフになります。予約一覧に複数の時刻が設定されている場合、この機能は現在の時刻から一番近い時刻に動作します。
- ・ オンタイマーまたはオフタイマーは一度設定すると、設定した時刻に毎日動作します。
- ・ 予約された電源オフの機能は、デバイスの時計が正しく設定されている場合にのみ正常に動作します。
- ・ 予約された電源オンと電源オフの時刻が同一の場合、セットがオンであれば電源オフの時刻が優先されます。セットがオフであればその逆になります。

モニター設定を初期化するには

SETTINGS → [機器設定] → [初期化]

すべてのモニター設定を初期化します。

エンターテイメント

[マイメディア]の使用

USBストレージデバイスの接続

USBフラッシュメモリーまたは外部ハードドライブなど、USBストレージデバイスをモニターに接続し、マルチメディア機能を使用します。



注意

- [マイメディア]画面が有効になっている場合は、モニターの電源をオフにしたり、USBストレージデバイスを取り外したりしないでください。これらを行うと、ファイルが失われたり、USBストレージデバイスが破損したりする場合があります。
- USBストレージデバイスに保存したファイルは、喪失または破損が保証対象外になる可能性があるため、頻繁にバックアップしてください。

USBストレージデバイスの使用上のヒント

- ・ USBストレージデバイスのみを認識できます。
- ・ USB装置はUSBハブ経由で接続すると効果的に動作しません。
- ・ 自動認識プログラムを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- ・ 独自のドライバを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- ・ USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なる場合があります。
- ・ 接続したUSBストレージデバイスの動作中に、モニターの電源をオフにしたり、USBストレージデバイスを取り外したりしないでください。USBストレージデバイスを突然取り外すと、保存されているファイルまたはデバイス自体が破損することがあります。
- ・ PCで動作するように変更されたUSBストレージデバイスは接続しないでください。モニターの誤動作が発生したり、コンテンツの再生が失敗したりすることがあります。通常の音楽、画像、または動画ファイルを含むUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- ・ WindowsでサポートされていないユーティリティプログラムによってフォーマットされたUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- ・ 外部電源が必要な（0.5Aを超える）USBストレージデバイスは、個別に電源に接続する必要があります。個別に電源を接続しなかった場合、デバイスが認識されないことがあります。
- ・ USBストレージデバイスはデバイスメーカーから提供されているケーブルを使用して接続してください。
- ・ USBストレージデバイスによっては、サポートされていないか、正常に動作しない場合があります。
- ・ USBストレージデバイスのファイル配置方法はWindows XPに準拠しており、ファイル名については、英字で100文字まで認識可能です。
- ・ USBストレージデバイスに保存されたデータは破損する場合があるため、重要なファイルは定期的にバックアップしてください。当社は、いかなるデータ喪失に対する責任も負いかねます。
- ・ USB HDDに外部電源がない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。デバイスが確実に検出されるように、外部電源を接続してください。
 - 外部電源には電源アダプターを使用してください。当社は、外部電源用のUSBケーブルを提供していません。
- ・ USBストレージデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合は、最大で4つのパーティションまたはUSBストレージデバイスを使用できます。
- ・ USBストレージデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- ・ USBストレージデバイスが正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- ・ 検出速度はデバイスによって異なります。
- ・ USBストレージデバイスがスタンバイモードで接続されている場合は、モニターの電源をオンにしたときに、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- ・ 推奨される容量は、USB外部ハードドライブの場合は1TB以下、USBメモリスティックの場合は32GB以下です。
- ・ 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- ・ [映像省エネ設定]機能付きのUSB外部ハードドライブが動作しない場合は、ハードドライブの電源をオフにして再度オンにしてください。
- ・ USB 2.0より前のUSBストレージデバイスはサポートされていますが、現在、動画では機能しないことがあります。
- ・ 1つのフォルダー内では、最大999個のサブフォルダーまたはファイルが認識可能です。

[マイメディア]でサポートされているファイル

サポートされている外部字幕形式

- *.smi、*.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0) 、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPlayer)
、*.psb (PowerDivX)

選択再生を使用するには

HOME →  → [写真]/[動画]/[音楽] → 

- [選択再生]：選択したコンテンツを再生します。

[デバイスの選択]を設定するには

HOME →  → [写真]/[動画]/[音楽] → 

- [デバイスの選択]：選択したデバイスからコンテンツをインポートします。

サポートされている内部字幕形式

- フルHD動画
1920 x 1080 : XSUB (DivX6から生成される内部字幕をサポート)

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	動画	VC-1アドバンスドプロファイル (WMVAを除く)、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard (WMA v1/WMA音声を除く)、WMA 9 Professional
.divx .avi	動画	DivX3.11、DivX4、DivX5、DivX6、XViD (3 warp-point GMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4 .m4v .mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp .3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8
	音声	Dolby Digital、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Vorbis、AAC
.ts .trp .tp .mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg .mpeg .dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

サポートされている音声ファイル

ファイル形式	項目	情報
.MP3	ビットレート	32~320 kbps
	サンプル周波数	16~48 KHz
	サポート	MPEG1、MPEG2、Layer2、Layer3
.wav	サポート	PCM
.ogg	サポート	Vorbis
.wma	サポート	WMA

サポートされている写真ファイル

ファイル形式	形式	項目
2D (jpeg、jpg、jpe)	JPEG	- 最小：64 x 64 - 最大：標準タイプ：15360 (W) x 8640 (H) /プログレッシブタイプ：1920 (W) x 1440 (H)
2D (png)	PNG	- 最小：64 x 64 - 最大：1920 (W) x 1080 (H)
2D (bmp)	BMP	- 最小：64 x 64 - 最大：1920 (W) x 1080 (H)

動画の視聴

モニターで動画ファイルを再生しましょう。保存されているすべての動画がモニターに表示されます。

モニターで動画ファイルを再生するには

HOME →  → [動画]

動画ファイル再生のヒント

- ・ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- ・字幕内の一部の特殊文字は再現されません。
- ・HTMLタグは字幕ではサポートされていません。
- ・サポートされていない言語の字幕は使用できません。
- ・音声言語を設定するとき画面上の過渡現象(画面静止や早見再生など)または音声の切れる現象が一時に発生することがあります。
- ・破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤー機能の一部が使用できないことがあります。
- ・一部のエンコードで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- ・録画ファイルの動画と音声が入インターリーブ構造になっていない場合は、動画と音声のいずれかのみが出力されます。
- ・HD動画については、フレームに応じて、最大1920 x 1080 @ 25/30Pまたは1280 x 720 @ 50/60Pがサポートされています。
- ・フレームによっては、1920 x 1080 @ 25/30Pまたは1280 x 720 @ 50/60Pより高い解像度の動画が正しく再生されないことがあります。
- ・指定した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しないことがあります。
- ・再生可能な動画ファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです (Motion JPEG : 10 Mbpsのみ)。
- ・H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたファイルについては、円滑な再生は保証いたしかねます。
- ・ファイルサイズが30 GBを超える動画ファイルはサポートされていません。
- ・DivXの動画ファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに配置する必要があります。
- ・動画ファイル名と字幕ファイル名が同じでないと、字幕は表示されません。
- ・高速接続をサポートしていないUSB接続経由で動画を再生すると、動画が正常に機能しないことがあります。
- ・グローバル動き補償(GMC : Global Motion Compensation)されたファイルも再生されないことがあります。

ヒント

- ・[動画]で変更されたオプション値は、[写真]と[音楽]に影響しません。同様に、[動画]は[写真]または[音楽]で変更されたオプション値により影響を受けません。
- ・[写真]と[音楽]で変更されたオプション値は相互に影響します。
- ・動画ファイルを停止した後に再開すると、停止した時点から再生できます。
- ・字幕ファイルでは、10,000個までの同調ブロックを使用できます。
- ・動画を再生するときは、ARCボタンを押して映像サイズを調整できます。
- ・OSDメニューが韓国語である場合にのみ、韓国語字幕がサポートされています。
- ・コードページのオプションは、字幕ファイルの言語によっては無効となることがあります。
- ・字幕ファイルに対応したコードページを選択してください。

写真の表示

画面での表示は、このモデルとは異なる場合があります。

画像ファイルの表示

HOME →  → [写真]

音楽の再生

音楽ファイルの表示

HOME →  → [音楽]

✓ ヒント

- サポートされていない拡張子のファイルは表示されません。
- ファイルが無効な場合は、破損した画像と、「ファイルを認識できません」というメッセージが表示されます。
- 破損した音楽ファイルは00:00として表示され、再生されません。
- 有料サービスからダウンロードした著作権保護付きの音楽ファイルは再生されず、再生中に不正確な情報が表示されることがあります。
- このモードでも、リモコンの 、、、、 ボタンを使用できます。
-  ボタンを押すと次のトラックを、 ボタンを押すと前のトラックを選択できます。
- 曲を再生してから5秒以内に  ボタンを押すと、前の曲に戻ります。再生してから5秒を過ぎて同じボタンを押すと、曲の頭に戻ります。

設定

DRM保護付きのDivX®動画を再生するには、製品を登録する必要があります。

購入またはレンタルしたDivX® VODコンテンツを登録/登録解除するには

HOME →  → [設定] → [DivX® VOD]

購入またはレンタルしたDivX® VODコンテンツを再生するには、デバイスから www.divx.com/vod にアクセスし、10桁のDivX登録コードでデバイスを登録する必要があります。

- ・[登録]： モニターの登録コードを表示します。
- ・[登録解除]： 登録をキャンセルします。

✓ ヒント

- ・登録コードの確認中、一部のボタンが動作しなくなることがあります。
- ・別のデバイスのDivX登録コードを使用している場合は、レンタルまたは購入したDivXファイルを再生できません。製品に割り当てられているDivX登録コードのみを使用してください。
- ・標準DivXコーデックを使用して変換されていない動画や音声ファイルは、破損しているか、再生できないことがあります。
- ・DivX® VODコードを使用すると、1つのアカウントで最大6つのデバイスをアクティブ化できます。
- ・登録を解除した後は、DivX® VODコンテンツを見るために再度デバイスを登録する必要があります。

SuperSignコンテンツ

SuperSign Editorの[エクスポート]オプションを使用して、保存したファイルを再生します。

[エクスポート]オプションを使用して保存されたファイルを再生するには

HOME→ 

SuperSign Managerによって配信されたコンテンツのみが表示され、選択可能です。

✓ ヒント

- USBストレージデバイスにAutoPlayフォルダーがあり、対象ファイルがサポートされる形式である場合は、USBストレージデバイスをモニターに接続すると自動的にそれらのファイルが再生されます。

情報

Signage Monitorの基本情報を確認するには

HOME→ 

Signage Monitorについての基本情報を確認できます。

File Manager

ファイルを移動、コピー、または削除できます。

ファイルを移動、コピー、または削除するには

HOME→ 

- ファイルまたはフォルダーを内部メモリーから外部メモリーに移動またはコピーできます。
- ファイルまたはフォルダーを外部メモリーから内部メモリーに移動またはコピーできます。
- 内部メモリーまたは外部メモリーからファイルまたはフォルダーを削除できます。

✓ ヒント

- このアプリケーションはファイルの管理を目的としており、メディアファイルは再生できません。メディアファイルを再生するには、[マイメディア]を起動します。
- 内部メモリーの空き容量よりサイズの大きなファイルを、内部メモリーにコピーしたり移動したりすることはできません。

映像IDの設定

映像IDは、マルチビジョン用のIRレシーバーを1つ使用して特定のセット（ディスプレイ）の設定を変更する場合に使用します。IRレシーバー付きのモニターと、RS-232Cケーブルを使用するその他のモニターとの通信が可能です。各モニターは、セットIDによって識別されます。リモコンを使用して映像IDを割り当てると、映像IDとセットIDが一致するモニターのみをリモコン操作できます。

- 1 以下に示すように、設置されたモニターに[IDの設定]を割り当てます。



- 2 リモコンの赤い[ON]ボタンを押して、映像IDを割り当てます。
 - 3 選択した対象に[IDの設定]を割り当てます。
- ・映像IDとは異なるIDの設定を持つセットは、IR信号によって制御できません。

✓ ヒント

- ・映像IDが2に設定されている場合は、IDの設定が2である右上のモニターのみをIR信号によって制御できます。
- ・映像IDに対して緑色のOFFボタンを押すと、すべてのモニターの映像IDがオフになります。その後、リモコンの任意のボタンを押すと、IDの設定に関係なくすべてのモニターをIR信号によって制御できます。
- ・映像IDがオンになっている場合、映像IDは1ずつしか増やせません。減らすことはできません。

IRコード

すべてのモデルがHDMI/USB機能をサポートしているわけではありません。

モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード (Hex)	機能	備考
08	⏻ (POWER)	リモコンボタン
C4	MONITOR ON (モニターオン)	リモコンボタン
C5	MONITOR OFF (モニターオフ)	リモコンボタン
95	Energy Saving (省エネモード)	リモコンボタン
0B	INPUT (入力)	リモコンボタン
10	数字キー0	リモコンボタン
11	数字キー1	リモコンボタン
12	数字キー2	リモコンボタン
13	数字キー3	リモコンボタン
14	数字キー4	リモコンボタン
15	数字キー5	リモコンボタン
16	数字キー6	リモコンボタン
17	数字キー7	リモコンボタン
18	数字キー8	リモコンボタン
19	数字キー9	リモコンボタン
02	Volume  (ボリュームアップ) (+)	リモコンボタン
03	Volume  (ボリュームダウン) (-)	リモコンボタン
E0	BRIGHTNESS  (ページアップ)	リモコンボタン
E1	BRIGHTNESS  (ページダウン)	リモコンボタン
DC	3D	リモコンボタン
32	1/a/A	リモコンボタン
2F	CLEAR (クリア)	リモコンボタン
7E	 SIMPLINK	リモコンボタン
79	ARC (MARK) (画面サイズ)	リモコンボタン
4D	PSM (映像モード)	リモコンボタン
09	MUTE (ミュート)	リモコンボタン
43	SETTINGS (メニュー)	リモコンボタン
99	Auto Config. (自動画面調整)	リモコンボタン
40	UP▲ (上)	リモコンボタン
41	Down▼ (下)	リモコンボタン
06	Right▶ (右)	リモコンボタン
07	Left◀ (左)	リモコンボタン
44	OK	リモコンボタン
28	BACK (バック)	リモコンボタン

コード (Hex)	機能	備考
7B	TILE (タイル)	リモコンボタン
5B	EXIT (終了)	リモコンボタン
72	ID ON (赤)	リモコンボタン
71	ID OFF (緑)	リモコンボタン
63	YELLOW (黄)	リモコンボタン
61	BLUE (青)	リモコンボタン
B1	■	リモコンボタン
B0	▶	リモコンボタン
BA		リモコンボタン
8F	◀	リモコンボタン
8E	▶▶	リモコンボタン
5F	W.BAL	リモコンボタン
3F	S.MENU (Sメニュー)	リモコンボタン
7C	HOME (ホーム)	リモコンボタン

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

複数のモニターを制御するには

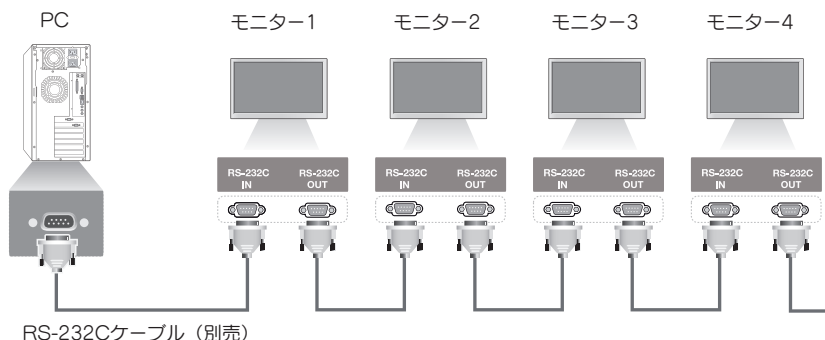
この方法を使用して、複数のモニターを1台のPCに接続できます。複数のモニターを1台のPCに接続することで、それらを一度に制御できます。

[オプション]メニューで、セットIDは1~1000の範囲にし、重複がないようにする必要があります。

ケーブルの接続

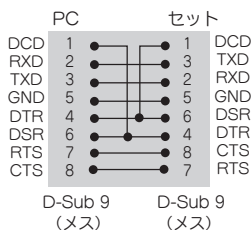
図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

PCとモニター間の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。モニター電源のオン/オフ、入力元の選択、OSDメニューの調整をPCから操作できます。



RS-232C構成

8線構成 (標準RS-232Cケーブル)



ヒント

- 3本の配線で接続している場合 (非標準)、赤外線通信機能のデジーチェーン接続は使用できません。
- (複数のモニターを制御する) デジーチェーンを介して接続された複数のモニターのオフとオンを連続して行くと、一部のモニターがオンにならないことがあります。この場合は、電源ボタンではなく、MONITOR ON(モニターオン)ボタンを押すと、それらのモニターをオンにすることができます。

通信パラメータ

ボーレート: 9600 BPS

データ長: 8ビット

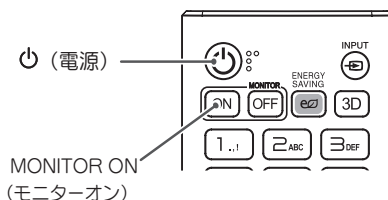
パリティビット: なし

ストップビット: 1ビット

フロー制御: なし

通信コード: ASCIIコード

クロス (リバース) ケーブル使用



コマンドリファレンスリスト

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
01	電源	k	a	00~01
02	入力の選択	x	b	「入力の選択」を参照
03	画面サイズ	k	c	「画面サイズ」を参照
04	省エネモード	j	q	「映像省エネ設定」を参照
05	映像モード	d	x	「映像モード」を参照
06	コントラスト	k	g	00~64
07	明るさ	k	h	00~64
08	鮮明度	k	k	00~32
09	カラー	k	i	00~64
10	色相	k	j	00~64
11	色温度	x	u	00~64
12	バランス	k	t	00~64
13	サウンドモード	d	y	「サウンドモード」を参照
14	ミュート	k	e	00~01
15	音量コントロール	k	f	00~64
16	時刻1（年/月/日）	f	a	「時刻1」を参照
17	時刻2（時/分/秒）	f	x	「時刻2」を参照
18	オフタイマースケジュール	f	c	00~01
19	オン時刻スケジュール	f	b	00~01
20	オフタイマー（繰り返し/時刻）	f	e	「オフタイマー」を参照
21	オンタイマー（繰り返し/時刻）	f	d	「オンタイマー」を参照
22	オンタイマー入力	f	u	「オンタイマー入力」を参照
23	信号がなければ電源をオフ（15分）	f	g	00~01
24	自動電源オフ（4時間）	m	n	00~01
25	言語	f	i	「言語」を参照
26	リセット	f	k	00、02
27	現在の温度	d	n	FF
28	キー	m	c	「キー」を参照
29	経過時間	d	l	FF
30	製品シリアル番号	f	y	FF
31	ソフトウェアバージョン	f	z	FF
32	ホワイトバランス赤ゲイン	j	m	00~FE
33	ホワイトバランス緑ゲイン	j	n	00~FE
34	ホワイトバランス青ゲイン	j	o	00~FE

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
35	ホワイトバランス赤オフセット	s	x	00~7F
36	ホワイトバランス緑オフセット	s	y	00~7F
37	ホワイトバランス青オフセット	s	z	00~7F
38	バックライト	m	g	00~64
39	映像オフ	k	d	00~01
40	タイルモード	d	d	00~FF
41	タイルモードの確認	d	z	FF
42	タイルID	d	i	「タイルID」を参照
43	ナチュラルモード	d	j	00~01
44	DPM選択	f	j	00~07
45	電源オンディレイ	f	h	00~FA
46	フェイルオーバー選択	m	i	00~02
47	フェイルオーバー入力選択	m	j	「自動切り替え入力選択」を参照
48	リモコンロック	t	p	00~02
49	ステータスの確認	s	v	「ステータスの確認」を参照
50	スピーカー	d	v	00~01
51	サマータイム	s	d	「サマータイム」を参照
52	Wake On LAN	f	w	00~01
53	電源インジケータ	f	o	00~01
54	ファンの制御	d	o	00~02
55	ファン障害チェック	d	w	FF
56	輝度値の読み取り	m	u	00~01
57	BLUメンテナンス	m	t	00~01
58	[かんたん明るさコントロールモード]	s	m	00~01
59	[かんたん明るさコントロールのスケジュール]	s	s	「かんたん明るさコントロールのスケジュール」参照

* 注：USBストレージデバイスまたは内部/外部メモリーからメディアファイルを再生している場合は、電源およびキーコマンドだけを使用できます。電源およびキーコマンド以外のコマンドはNGとして扱われます。モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

送受信プロトコル

Transmission

[Command1][Command2][][Set ID][][Data][Cr]

- * [Command1] : 工場出荷時設定モードかユーザー設定モードかを特定します。
- * [Command2] : モニターセットを制御します。
- * [Set ID] : 制御するセットの選択に使用されます。OSDメニューの[設定]で、各セットに1~1000 (01H~3E8H) の一意のIDの設定を割り当てることができます。
IDの設定に「00H」を選択すると、接続されたすべてのモニターを同時に制御できます。
- * [Data] : コマンドデータを送信します。
コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
- * [Cr] : キャリッジリターン。アスキーコードの「0x0D」に対応しています。
- * [] : ホワイトスペース。アスキーコードの「0x20」に対応しています。

Acknowledgement

[Command2][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

- * モニターは、正常なデータを受信すると、この形式に基づいてACK（アクノリッジメント）を送信します。このとき、データがFFである場合は、現在のステータスデータを示します。データがデータ書き込みモードになっている場合は、PCコンピュータのデータを返します。
- * コマンドがIDの設定「00」（=0x00）とともに送信された場合は、データがすべてのモニターセットに反映され、各モニターセットはアクノリッジメント（ACK）を送信しません。
- * RS-232Cを介して制御モードでデータ値「FF」を送信すると、機能の現在の設定値を確認できます（ただし一部の機能に限定）。
- * モデルによっては一部のコマンドがサポートされません。

01. 電源（コマンド：k a）

セットの電源のオン/オフを制御します。

Transmission

[k][a][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00 : Off

01 : する

Acknowledgement

[a][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* アクノリッジメント信号は、モニターの電源が完全にオンになったときにのみ適切に返されます。

* 送信信号とアクノリッジメント信号の間に遅延が発生することがあります。

02. 入力を選択（コマンド：x b）

入力信号を選択します。

Transmission

[x][b][][Set ID][][Data][Cr]

Data

70 : DVI-D (PC)

80 : DVI-D (DTV)

90 : HDMI1 (DTV)

A0 : HDMI1 (PC)

91 : HDMI2 (DTV)

A1 : HDMI2 (PC)

C0 : DISPLAYPORT (DTV)

D0 : DISPLAYPORT (PC)

Acknowledgement

[b][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、一部の入力信号がサポートされていない場合があります。

03. 画面サイズ（コマンド：k c）

画面サイズを調整します。

Transmission

[k][c][][Set ID][][Data][Cr]

データ

01 : 4:3

02 : 16:9

04 : ズーム

06 : オリジナル

09 : ジャストスキャン（720p以上）

10～1F : シネマズーム1～16

* 使用可能なデータタイプは、入力信号によって異なります。詳細については、取扱説明書の画面サイズのセクションを参照してください。

* 画面サイズは、モデルの入力設定によって異なる場合があります。

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

04. 映像省エネ設定（コマンド：j q）

映像省エネ設定を設定します。

Transmission

[j][q][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00 : Off

01 : 最小節電

02 : 中間節電

03 : 最大節電

04 : 自動

05 : 映像オフ

Acknowledgement

[q][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

05. 映像モード（コマンド：d x）

映像モードを選択します。

Transmission

[d][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ

00 : あざやか

01 : 標準映像

02 : シネマ

03 : スポーツ

04 : ゲーム

05 : エキスパート映像1

06 : エキスパート映像2

08 : APS

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

06. コントラスト (コマンド: k g)

画面のコントラストを調整します。

Transmission
[k][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64: コントラスト0~100

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

07. 明るさ (コマンド: k h)

画面の明るさを調整します。

Transmission
[k][h][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00~64: 明るさ0~100

Acknowledgement
[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

08. シャープネス (コマンド: k k)

画面の鮮明度を設定します。

Transmission
[k][k][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~32: シャープネス0~50

Acknowledgement
[k][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

09. 色の濃さ (コマンド: k i)

画面の色を調整します。

Transmission
[k][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00~64: カラー0~100

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

10. 色合い (コマンド: k j)

画面の色相を調整します。

Transmission
[k][j][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00~64: 色合いの赤50~緑50

Acknowledgement
[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

11. 色温度 (コマンド: x u)

画面の色温度を調整します。

Transmission
[x][u][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64: 暖色50~冷色50

Acknowledgement
[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

12. バランス (コマンド: k t)

音声バランスを調整します。

Transmission
[k][t][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~64: 左50~右50

Acknowledgement
[t][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

13. サウンドモード (コマンド : d y)

サウンドモードを選択します。

Transmission

[d][y][][Set ID][][Data][Cr]

Data 01 : 標準
 02 : 音楽
 03 : シネマ
 04 : スポーツ
 05 : ゲーム
 07 : ニュース

Acknowledgement

[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

14. ミュート (コマンド : k e)

サウンドをミュート/ミュート解除します。

Transmission

[k][e][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00 : ミュート
 01 : ミュート解除

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

15. 音量コントロール (コマンド : k f)

再生音量を調整します。

Transmission

[k][f][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00~64 : 音量0~100

Acknowledgement

[f][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

16. 時刻1 (年/月/日) (コマンド : f a)

時刻1 (年/月/日) の値を調整します。

Transmission

[f][a][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]

[Cr]

データ1 04~1B : 2014~2037年

Data2 01~0C : 1~12月

Data3 01~1F : 1~31日

* 「fa [Set ID] ff」を入力すると、時刻1 (年/月/日) の設定が表示されます。

Acknowledgement

[a][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

17. 時刻2 (時/分/秒) (コマンド : f x)

時刻2 (時/分/秒) の値を調整します。

Transmission

[f][x][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]

[Cr]

Data1 00~17 : 00~23時

Data2 00~3B : 00~59分

Data3 00~3B : 00~59秒

* 「fx [Set ID] ff」を入力すると、時刻2 (時/分/秒) の設定が表示されます。

** この機能は、時刻1 (年/月/日) が設定されている場合にのみ使用できます。

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

18. オフ時刻スケジュール (コマンド : f c)

オフ時刻スケジュールを有効/無効にします。

Transmission

[f][c][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00 : Off

01 : する

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

19. オン時刻スケジュール（コマンド：f b）

オン時刻スケジュールを有効/無効にします。

Transmission

[f][b][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00：Off

01：する

Acknowledgement

[b][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

Data3 00～3B：00～59分

* オフ時刻スケジュールリストを読み取る、または削除するには、[データ2][データ3]をFFHに設定する必要があります。

例1：fe 01 f1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2：fe 01 e1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。

例3：fe 01 04 02 03 - オフタイマーを月曜～土曜日の02:03にセットします。

* この機能は、時刻1（年/月/日）と時刻2（時/分/秒）が設定されている場合にのみ使用可能です。

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

20. オフタイマー（繰り返し/時刻）（コマンド：f e）

オフタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][e][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]

[Cr]

Data1

1. f1h～f7h（データの読み取り）

F1：1番目のオフタイマーデータを読み取る

F2：2番目のオフタイマーデータを読み取る

F3：3番目のオフタイマーデータを読み取る

F4：4番目のオフタイマーデータを読み取る

F5：5番目のオフタイマーデータを読み取る

F6：6番目のオフタイマーデータを読み取る

F7：7番目のオフタイマーデータを読み取る

2. e1h～e7h（1つのインデックスを削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）

E0：すべてのオフタイマー設定を消去

E1：1番目のオフタイマー設定を消去

E2：2番目のオフタイマー設定を消去

E3：3番目のオフタイマー設定を消去

E4：4番目のオフタイマー設定を消去

E5：5番目のオフタイマー設定を消去

E6：6番目のオフタイマー設定を消去

E7：7番目のオフタイマー設定を消去

3. 01h～0Ch（オフタイマーの曜日を設定）

01：1回

02：毎日

03：月曜～金曜日

04：月曜～土曜日

05：土曜～日曜日

06：毎週日曜日

07：毎週月曜日

08：毎週火曜日

09：毎週水曜日

0A.毎週木曜日

0B.毎週金曜日

0C.毎週土曜日

Data2 00～17：00～23時

21. オンタイマー（繰り返し/時刻）（コマンド：f d）

オンタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][d][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]

[Cr]

Data1

1. f1h～f7h（データの読み取り）

F1：1番目のオンタイマーデータを読み取る

F2：2番目のオンタイマーデータを読み取る

F3：3番目のオンタイマーデータを読み取る

F4：4番目のオンタイマーデータを読み取る

F5：5番目のオンタイマーデータを読み取る

F6：6番目のオンタイマーデータを読み取る

F7：7番目のオンタイマーデータを読み取る

2. e1h～e7h（1つのインデックスを削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）

E0：すべてのオンタイマー設定を消去

E1：1番目のオンタイマー設定を消去

E2：2番目のオンタイマー設定を消去

E3：3番目のオンタイマー設定を消去

E4：4番目のオンタイマー設定を消去

E5：5番目のオンタイマー設定を消去

E6：6番目のオンタイマー設定を消去

E7：7番目のオンタイマー設定を消去

3. 01h～0Ch（オンタイマーの曜日を設定）

01：1回

02：毎日

03：月曜～金曜日

04：月曜～土曜日

05：土曜～日曜日

06：毎週日曜日

07：毎週月曜日

08：毎週火曜日

09：毎週水曜日

0A：毎週木曜日

0B：毎週金曜日

0C：毎週土曜日

Data2 00～17：00～23時

Data3 00～3B：00～59分

* オン時刻スケジュールの一覧を読み取る、または削除するには、[Data2][Data3]をFFHに設定する必要があります。

例1：fd 01 f1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2：fd 01 e1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。

例3：fd 01 04 02 03 - オンタイマーを月曜～土曜日の02:03にセットします。

* この機能は、時刻1（年/月/日）と時刻2（時/分/秒）が設定されている場合にのみ使用可能です。

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

22. オンタイマー入力（コマンド：f u）

現在のオン時刻設定用に外部入力を選択し、新しいスケジュールを追加します。

Transmission

[f][u][][Set ID][][Data1][Cr]

[f][u][][Set ID][][Data1][][Data2][Cr]

Data（スケジュールを追加）

70：DVI-D

90：HDMI1

91：HDMI2

C0：DISPLAYPORT

データ1（スケジュールを読み取る）

1. f1h～f7h（データを読み取る）

F1：1番目のスケジュール入力を選択

F2：2番目のスケジュール入力を選択

F3：3番目のスケジュール入力を選択

F4：4番目のスケジュール入力を選択

F5：5番目のスケジュール入力を選択

F6：6番目のスケジュール入力を選択

F7：7番目のスケジュール入力を選択

データ2（スケジュールを読み取る）

FF

* スケジュール入力を読み取るには、[データ2]にFFと入力します。

スケジュールデータを読み取ろうとしたときに、[データ1]のスケジュールがない場合は、テキスト「NG」が表示され、操作が失敗します。

（例1：fu 01 90 - 各スケジュール入力を1行ずつ下げ、1番目のスケジュール入力をHDMIモードで保存します。）

（例2：fu 01 f1 ff - 1番目のスケジュール入力を読み取ります。）

* この機能は、1（年/月/日）、2（時/分/秒）、オン時刻（繰り返しモード/時刻）が設定されている場合にのみサポートされています。

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

[u][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][x]

23. 信号がなければ電源をオフ（15分）（コマンド：f g） 自動スタンバイ設定を構成します。

Transmission

[f][g][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00：Off

01：する

Acknowledgement

[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

24. 自動電源オフ（4時間）（コマンド：m n） 自動オフ設定を構成します。

Transmission

[m][n][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00：Off

01：4時間

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

25. 言語 (コマンド: f i)

OSD言語を設定します。

Transmission

[f][i][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: チェコ語
 01: デンマーク語
 02: ドイツ語
 03: 英語
 04: スペイン語 (欧州)
 05: ギリシャ語
 06: フランス語
 07: イタリア語
 08: オランダ語
 09: ノルウェー語
 0A: ポルトガル語
 0B: ポルトガル語 (ブラジル)
 0C: ロシア語
 0D: フィンランド語
 0E: スウェーデン語
 0F: 韓国語
 10: 中国語 (普通話)
 11: 日本語
 12: 中国語 (広東語)

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

26. 初期化 (コマンド: f k)

映像初期化機能および工場出荷状態への初期化機能を実行します。

Transmission

[f][k][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: 映像初期化
 02: 初期設定 (工場出荷状態への初期化)

Acknowledgement

[k][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

27. 現在の温度 (コマンド: d n)

内部温度を確認します。

Transmission

[d][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF: ステータスを確認

Acknowledgement

[n][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[X]

データ1 出口 (上部) の温度センサー。
 データ2 入口 (下部) の温度センサー。
 データ3 メインボード (メインPCB) の温度センサー。

* 温度は16進数値として表示されます。

* データ項目の数はモデルによって異なります。

28. キー (コマンド: m c)

IRリモートキーコードを送信します。

Transmission

[m][c][][Set ID][][Data][Cr]

Data IR_KEY_CODE

Acknowledgement

[c][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

キーコードについては、「IRコード」を参照してください。

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

29. 経過時間 (コマンド: d l)

経過時間を確認します。

Transmission

[d][l][][Set ID][][Data][Cr]

Data FF: ステータスを読み取る

Acknowledgement

[l][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* 受信データは16進数値として表示されます。

30. 製品シリアル番号 (コマンド: f y)
製品のシリアル番号を確認します。

Transmission
[f][y][][Set ID][][Data][Cr]

Data FF: 製品シリアル番号を確認

Acknowledgement
[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データはASCIIコードです。

31. ソフトウェアバージョン (コマンド: f z)
製品のソフトウェアバージョンを確認します。

Transmission
[f][z][][Set ID][][Data][Cr]

Data FF: ソフトウェアバージョンを確認

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

32. ホワイトバランス赤ゲイン (コマンド: j m)
ホワイトバランス赤ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][m][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 赤ゲイン0~254

FF: 赤ゲインの値を確認

Acknowledgement
[m][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

33. ホワイトバランス緑ゲイン (コマンド: j n)
ホワイトバランス緑ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][n][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 緑ゲイン0~254

FF: 緑ゲインの値を確認

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

34. ホワイトバランス青ゲイン (コマンド: j o)
ホワイトバランス青ゲインの値を調整します。

Transmission
[j][o][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~FE: 青ゲイン0~254

FF: 青ゲインの値を調整します。

Acknowledgement
[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

35. ホワイトバランス赤オフセット (コマンド: s x)
ホワイトバランス赤オフセットの値を調整します。

Transmission
[s][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 赤オフセット0~127

FF: 赤オフセットの値を確認

Acknowledgement
[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

36. ホワイトバランス緑オフセット (コマンド: s y)
ホワイトバランス緑オフセットの値を調整します

Transmission
[s][y][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 緑オフセット0~127

FF: 緑オフセットの値を確認

Acknowledgement
[y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

37. ホワイトバランス青オフセット (コマンド: s z)
ホワイトバランス青オフセットの値を調整します。

Transmission
[s][z][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00~7F: 青オフセット0~127

FF: 青オフセットの値を確認

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

44. DPM選択（コマンド：f j）

DPM（ディスプレイ電源管理）機能を設定します。

Transmission

[f][j][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00 : Off
 01 : 5秒
 02 : 10秒
 03 : 15秒
 04 : 1分
 05 : 3分
 06 : 5分
 07 : 10分

Acknowledgement

[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

45：電源オンディレイ（コマンド：f h）

電源をオンにしたときの遅延時間を設定します（単位：秒）。

Transmission

[f][h][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00～FA：最小0～最大250（秒）

Acknowledgement

[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

46：フェイルオーバー選択（コマンド：m i）

自動切り替えの入力モードを選択します。

Transmission

[m][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00 : Off
 01 : 自動
 02 : 手動

Acknowledgement

[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

47：フェイルオーバー入力選択（コマンド：m j）

自動切り替えの入力元を選択します。

* このコマンドは、フェイルオーバー（自動）モードが[カスタム]に設定されている場合にのみ使用できます。

Transmission

[m][j][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][][Data4][Cr]

データ 1～4（入力優先順位：1～4）

70 : DVI-D
 90 : HDMI1
 91 : HDMI2
 C0 : DISPLAYPORT

Acknowledgement

[j][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][Data4][x]

データ 1～4（入力優先順位：1～4）

70 : DVI-D
 90 : HDMI1
 91 : HDMI2
 C0 : DISPLAYPORT

48：IRの操作（コマンド：t p）

製品のIRの操作を設定します。

Transmission

[t][p][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00 : すべてのキーをロック解除
 01 : 電源キーを除くすべてのキーをロック
 02 : すべてのキーをロック

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

49. ステータスの確認（コマンド：s v）

製品の現在の信号状態を確認します。

Transmission

[s][v][][Set ID][][Data][][FF][Cr]

データ 02：信号の有無を確認

05：輝度センサー1、2が正常に動作しているか確認します。
 06：現在使用している輝度センサー
 07：上部、下部、メインの温度センサーが正しく動作し

ているかどうかを確認します。

08: モニターセットの電源が最後にオフにされたときの
各温度センサーの温度。

09: ファン速度

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][Data1][x]

データ: 値が02のとき、

データ1 00: 信号なし

01: 信号あり

データ: 値が05のとき、

データ1 00: すべてのセンサーが正常

01: BLUセンサー1正常、BLUセンサー2動作停

止

02: BLUセンサー1動作停止、BLUセンサー2正

常

03: すべてのセンサーが動作停止

データ: 値が06のとき、

00: 輝度センサー1が現在使用中

01: 輝度センサー2が現在使用中

データ: 値が07のとき、

データ1 00: すべての温度センサーに誤動作がありま
す。

01: 上部正常、下部誤動作、メイン誤動作

02: 上部誤動作、下部正常、メイン誤動作

03: 上部正常、下部正常、メイン誤動作

04: 上部誤動作、下部誤動作、メイン正常

05: 上部正常、下部誤動作、メイン正常

06: 上部誤動作、下部正常、メイン正常

07: すべての温度センサーが正常

データ: 値が08のとき、

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][Data1][Data2]

[Data3][x]

データ1 モニターセットの電源が最後にオフにされたときの
上部センサーの温度。

データ2 モニターセットの電源が最後にオフにされたときの
下部センサーの温度。

データ3 モニターセットの電源が最後にオフにされたときの
メインセンサーの温度。

データ: 値が09のとき、

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][Data1][Data2][x]

データ1 00~ff: ファン速度の上位1バイト

データ2 00~ff: ファン速度の下部1バイト

ファン速度: 0~2008 (16進) および0~8200 (10進)

** モデルによってはこの機能がサポートされてい
ない場合があります。

50. スピーカー (コマンド: dv)

スピーカー機能を設定します。

Transmission

[d][v][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: Off

01: する

Acknowledgement

[v][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

51. サーマタイム (コマンド: sd)

サーマタイム機能を設定します。

Transmission

[s][d][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]

[][Data4][][Data5][Cr]

データ1 00: オフ (データ2~5: FFH)

01: 開始時刻

02: 終了時刻

Data2 01~0C: 1~12月

データ3 01~06: 第1週~第6週

* [データ3]の最大値は日付によって異なり
ます。

データ4 00~06 (日曜日~土曜日)

データ5 00~17: 00時~23時

* 開始時刻と終了時刻を読み取るには、[データ2]~
[データ5]にFFHを入力してください。

(例1: sd 01 01 ff ff ff ff - 開始時刻を確認します。

例2: sd 01 02 ff ff ff ff - 終了時刻を確認します。)

* この機能は、時間1 (年/月/日)

と時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合のみ使用できま
す。

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[Data3][Data4][Data5][x]

** モデルによってはこの機能がサポートされてい
ない場合があります。

52. Lanで起動（コマンド：f w）
Lanで起動のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[f][w][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：Lanで起動がオン

01：Lanで起動がオフ

Acknowledgement
[w][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

53. 電源インジケータ（コマンド：f o）
電源インジケータを設定します。

Transmission
[f][o][][Set ID][][Data][Cr]

Data 00：Off

01：する

Acknowledgement
[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

54. ファンの制御（コマンド：d o）
ファンモードを設定します。

Transmission
[d][o][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00：自動

01：する

02：手動

03：オフ

Acknowledgement
[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

55. ファン障害チェック（コマンド：d w）
ファンの障害を確認します。

Transmission
[d][w][][Set ID][][Data][Cr]

データ FF：ステータス読み取り

Acknowledgement
[w][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][x]

データ1 00：1台以上のファンに障害があります。

01：すべてのファンが正常です。

02：このモデルにはファンがありません。

データ2 00：障害のあるファンはありません（すべてのファンが正常です）。

01：1台のファンに障害があります。

02：2台のファンに障害があります。

03：3台のファンに障害があります。

04：4台のファンに障害があります。

05：5台のファンに障害があります。

56. 輝度値の読み取り（コマンド：m u）
輝度値を読み取ります。

Transmission
[m][u][][Set ID][][FF][Cr]
Acknowledgement
[u][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[Data4][Data5][Data6][Data7][x]

データ1 00～64：バックライトPWM値（0～100）

データ2 00～ff：CA-210により測定された値の上位1バイト。

データ3 00～ff：CA-210により測定された値の下位1バイト。

CA-210測定値：0000～ffff（16進）および0～65535（10進）。

データ4 00～ff：BLU 1センサーにより測定された値の上位1バイト。

データ5 00～ff：BLU 1センサーにより測定された値の下位1バイト。

データ6 00～ff：BLU 1センサーにより測定された値の上位2バイト。

データ7 00～ff：BLU 1センサーにより測定された値の下位2バイト。

BLU測定値：0000～ffff（16進）および0～65535（10進）。

* 最終組み立て時に、CA-210測定値がキャリブレーション工程で入力されます。キャリブレーション前のデフォルト値は、0です。

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

57. BLUメンテナンス (コマンド: m t)

BLUメンテナンスのオン/オフを切り替えます。

Transmission
[m][t][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: BLUメンテナンスオフ

01: BLUメンテナンスオン

Acknowledgement
[t][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

58. かんたん明るさコントロールモード (コマンド: s m)

[かんたん明るさコントロールモード]のオン/オフを切り替えます。

Transmission
[s][m][][Set ID][][Data][Cr]

データ 00: [かんたん明るさコントロール]

オフ

01: [かんたん明るさコントロール]オン

Acknowledgement
[m][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

59. かんたん明るさコントロールスケジュール (コマンド: s s)

かんたん明るさコントロールスケジュールを設定します。

Transmission
[s][s][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]
[Cr]

Data1

1. f1～f6 (データ読み取り)

F1: 1番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F2: 2番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F3: 3番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F4: 4番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F5: 5番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

F6: 6番目の[かんたん明るさコントロール]のデータを読み取り

2. FF: 保存されているすべてのリストを読み取り

3. e1～e6 (インデックス1個を削除)、e0 (すべてのインデックスを削除)

E0: すべてのかんたん明るさコントロールを削除

E1: 1番目のかんたん明るさコントロールを削除

E2: 2番目のかんたん明るさコントロールを削除

E3: 3番目のかんたん明るさコントロールを削除

E4: 4番目のかんたん明るさコントロールを削除

E5: 5番目のかんたん明るさコントロールを削除

E6: 6番目のかんたん明るさコントロールを削除

4. 00～17: 00時～23時

データ200～3B: 00～59分

データ300～64: バックライト0～100

* 設定済みの[かんたん明るさコントロール]リストを読み取るか削除したい場合は、[データ2][データ3]をFFに設定してください。

* 設定済みの[かんたん明るさコントロール]リストのすべてをFFでインポートしたい場合は、[データ2][データ3]に値を入力しないでください。

* すべての設定済み[かんたん明るさコントロール]リストがFFでインポートされると、保存リストが何もない場合でも[OK]がアクノリッジされます。

例1: ss 01 f1 ff ff - [かんたん明るさコントロール]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2: ss 01 ff - [かんたん明るさコントロール]のすべてのインデックスデータを読み取ります。

例3: ss 01 e1 ff ff - [かんたん明るさコントロール]の1番目のインデックスデータを削除します。

例4: ss 01 07 1E 46 - 時刻が07:30でバックライトが70のスケジュールを追加します。

Acknowledgement
[s][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[x]

** モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。

